

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

《土日の午後を彩る名曲選》

首席客演指揮者に就任した

鬼才ヴァルチュハが登場！

心を揺さぶる重厚なサウンド、

涙を誘う哀愁のメロディ！

悲愴

チャイコフスキー

音楽のみに没頭する希代のアーティスト
欧米で注目を浴びるスロヴァキアの鬼才

指揮=ユライ・ヴァルチュハ(首席客演指揮者)

Conductor= JURAJ VALČUHA (Principal Guest Conductor)

リャードフ:魔法にかけられた湖 作品62

LIADOV: The Enchanted Lake, op. 62

ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲 二短調

KHACHATURIAN: Violin Concerto in D minor

チャイコフスキー:交響曲第6番 口短調 作品74 「悲愴」

TCHAIKOVSKY: Symphony No. 6 in B minor, op. 74 "Pathétique"

ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞後、
TV出演など多方面で活躍する俊英

ヴァイオリン=周防亮介

Violin= RYOSUKE SUHO

読売日本交響楽団
第266回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 266

第266回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 266

2024年5月25日(土)
Saturday, 25 May 2024

2024年5月26日(日)
Sunday, 26 May 2024

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

チケット料金 S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

■ 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスセンター0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、回くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

欧米で注目を浴びる鬼才ヴァルチュハ、 チャイコフスキー「悲愴」で真価を発揮へ！

欧米で注目を浴びるスロヴァキア出身のユライ・ヴァルチュハが、読響の新たな首席客演指揮者に就任し、そのお披露目となるコンサート。今も時代を超えて、多くの人に愛されて止まないチャイコフスキーの傑作「悲愴」など3つのロシア・ソビエト音楽を披露します。

現在、ヨーロッパとアメリカで華々しく活躍しているヴァルチュハは、10代終わりにサンクトペテルブルクに留学し、テミルカーノフ、バルシャイ、ビシュコフら世界的マエストロを育てたロシアの名教師ムーシンに学びました。そのため、彼のロシア音楽への思いは強いものがあります。

メインに演奏するのはチャイコフスキーの最後の交響曲、第6番「悲愴」。チャイコフスキーの最高傑作の一つとされている曲で、美しく心揺さぶられるメロディから、慟哭のような感情の爆発まで、作曲家の交響曲に込めた熱い思いが溢れ出ています。まさに、人生そのものを描いたような交響曲。ロシアとヨーロッパで学び、欧米で活躍するヴァルチュハは、現代のコスモポリタンな感覚で、この作品に潜む極限の“美と狂気”を浮き彫りにするでしょう。

前半には、アルメニア出身のハチャトゥリアンによるヴァイオリン協奏曲を演奏。ハチャトゥリアンは1963年来日し、読響で自作を指揮しています。その際に、レオニード・コーガンの独奏でこの協奏曲も取りあげていることから、読響にとって重要なレパートリーになっています。今回、スイスのジュネーブなどで活躍する実力派・周防亮介が独奏を務めます。若い頃から国内でも活躍しながら、新たな殻を打ち破ろうとスイスに渡り、更に高いステージへと達した周防の繊細かつ真摯な音楽性は、目を瞠めるものがあります。難曲とされるハチャトゥリアンの協奏曲を弾き、高度なテクニックによる超絶技巧を披露し、民俗的な旋律をピュアな感性で歌い上げ、会場を大いに沸かすことでしょう。

1曲目、リャードフの「魔法にかけられた湖」は約7分の短い作品で、凪いだ湖面が次第に波立つような幻想的な世界が広がります。オペラでも活躍するヴァルチュハの手腕が発揮されるでしょう。



© JUNICHIRO MATSUO

周防亮介 (ヴァイオリン)

Ryosuke Suho, Violin

2016年ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞の新鋭ヴァイオリニスト。日本音楽コンクールやオISTRAフ国際コンクールなど数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。出光音楽賞、青山音楽新人賞を受賞。12歳での日本の主要楽団との共演以来、バリ管やフランス国立管、シュトゥットガルト室内管など国内外の楽団と多数共演している。23年にはサントリーホール大ホールにて「無伴奏リサイタル」を開催し、絶賛された。東京音楽大学アーティスト・ディプロマコースを修了後、江副記念リクルート財団奨学生としてスイスのメニューイン国際音楽アカデミーに留学。使用楽器は宗次コレクションより貸与の1678年製ニコロ・アマティ。

ユライ・ヴァルチュハ (首席客演指揮者)

Juraj Valčuha, Principal Guest Conductor

24年4月に読響の首席客演指揮者に就任したスロヴァキアの鬼才。プラチスラヴァで作曲と指揮を学んだ後、サンクトペテルブルクとパリで学び、ムーシンらに師事。フランス国立管デビューを皮切りに、欧米で活躍中。2009~16年までRAI国立響の首席指揮者、16~22年までナポリ・サンカルロ劇場の音楽監督を務めた。現在、ヒューストン響の音楽監督とベルリン・コンツェルトハウス管の首席客演指揮者の任にある。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ドレスデン国立歌劇場管、ニューヨーク・フィル、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シカゴ響など一流楽団を振り、高い評価を得ている。オペラでもバイエルン国立歌劇場、ボローニャ歌劇場などで活躍。

読売日本交響楽団 第266回 土曜マチネーシリーズ

2024年 **5月25日** (土) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

読売日本交響楽団 第266回 日曜マチネーシリーズ

2024年 **5月26日** (日) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。[観覧券] 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付: 平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296